



予防接種と新型コロナウイルス 中央通り線事業と不登校について

向井 誠議員



予防接種について

質問 おたふく風邪ワクチンの接種費用について、一回目は助成しておりますが、二回目も助成する考えは。

答 二回目の助成につきましては、日本小児科学会も二回接種を推奨しておりますので、積極的に二回目の助成を検討していきます。

新型コロナウイルス

質問 病院の県外連携は。

答 県内では、前橋日赤が調整を図っています。県外連携はしていませんが、救急体制における両毛地域での連携は行っています。

質問 相談体制は。

答 まず、かかりつけ医に電話相談し、かかりつけ

医がない場合は受診相談センターに相談し、受診可能な医療機関を紹介していただくこととなります。

質問 検査可能な医療機関名が非公表の理由は。

答 公表すると、その病院が敬遠され経営が悪化してしまうことや、その病院の医療従事者や家族が社会から敬遠されてしまう可能性があることから、このような事態を避けるため公表していないと推測します。

中央通り線道路改良事業

質問 改良事業の内容は。

答 令和9年度までの事業期間で、郵便局本局から館林駅前交差点までの延長780mを下町通り線と同じ幅員20mで拡幅し、歩行者・自転車道を整備します。

質問 改良事業の目的は。

答 通行者の安全、道路交通の円滑化、電線類の地中化に伴う景観の向上、緊急輸送道路の確保です。

質問 事業後の将来像は。

答 半数程度の店舗は継続する予定です。歩いても

休んでも楽しい、おもてなしのある道路の提供に併せ、商店街の方々にも、にぎわい創出に向けた工夫や取り組みをお願いするものです。

不登校について

質問 児童生徒への対応は。

答 新たな学び場づくりや一人一人に応じた支援に努め、自宅のオンライン学習も出席として扱っています。また、いじめが原因で不登校になった児童生徒はいませんが、今後も未然防止に取り組んでいきます。

学校備品、里沼保全と 旧二業見番組合事務所

小林 信議員



机が倒れ、けがをした事故

質問 学校備品等の安全点検は毎月しているとのことですが、ある小学校で先生の机が倒れて、児童が足を骨折したということですが、毎月点検しているのであれば、その段階で老朽化が確認できたはずですが。児童がけがをして、初めて老朽化

していたことに気づいたということでは問題外です。しっかりと対応していきたい

答 教卓が老朽化して、少しづつがらしていることは認識していました。若干の補修をしながら使用して

いましたが、教卓を動かすときに、倒れてしまったということですので。今後は、し

っかり対応していきたいと考えています。

里沼の魅力度アップは

質問 里沼の魅力度をアップさせる施策が必要です。多々良沼は、県立公園なので県の協力のもとビクターセンターで軽食やコーヒーを提供する。城沼は、つつじが岡パークインに休憩場所やお土産コーナーを設ける。茂林寺沼は、県の天然記念物に指定され、隣接地にダークダックス音楽館があるため、訪れた人に昔懐

かしい歌声を聞いてもらうなど有効活用できるのでは。新たな発想を検討したい

新たな発想を検討したい

答 里沼の魅力度アップとして、多々良沼でのコーヒー等の販売という新たな発想の中で、県と協議を進めたいと考えます。城沼のパークインの休憩所についても、検討を進めていきたいと考えます。ダークダックス音楽館を利用していたくのも観光客の誘客につながると思いますので、検討したいと考えます。

貸し出しの基準は

質問 先日、旧館林二業見番組合事務所で落語会が行われたと報道がありました。これまで耐震の関係で危険性があり、使用が禁止されていたが、どのような基準で貸し出されたのか。

答 市の内規で、単なる一般利用と差別化でき、観光や文化財のPRなど明確な目的を持つ企画等を貸し出しの対象としています。